

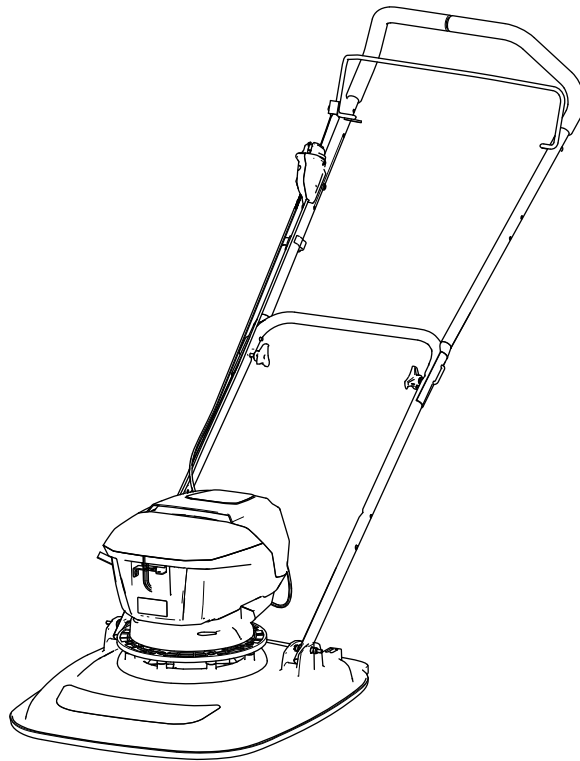


Count on it.

オペレーターズマニュアル

# eHoverPro™ 450 60V 芝刈り機

モデル番号 02614T—シリアル番号 400000000 以上



## ▲ 警告

### カリフォルニア州 第65号決議による警告

この製品の電源コードには鉛が使用されており、カリフォルニア州では発ガン性や先天性異常を引き起こす物質とされています。

取り扱い後は手をよく洗ってください。

米国カリフォルニア州では、この製品を使用した場合、ガンや先天性異常などを誘発する物質に触れる可能性があるとしてされています。

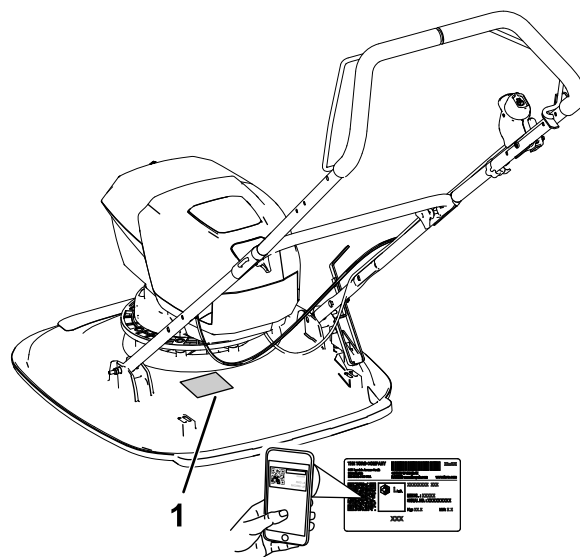


図 1

1. モデルとシリアル番号の記載位置

g414362

## はじめに

この製品は専門業務に従事するプロのオペレータが斜面上のターフ、アップダウンの大きなターフ、水際やバンカー脇のターフを刈り込みのための機械として設計製造されています。この製品は Toro 60V リチウムバッテリーパックを動力源とする製品です。バッテリーパックは Toro 60V リチウムバッテリー充電器以外で充電することはできません。この機械は本来の目的から外れた使用をすると運転者本人や周囲の人間に危険を及ぼす場合があります。

この説明書を読んで製品の運転方法や整備方法を十分に理解し、怪我や製品の損傷を避けるようにしてください。この製品を適切かつ安全に使用するのをお客様の責任です。

安全上の注意事項、トレーニング資料、アクセサリについての情報、代理店の検索、製品のご登録などについては [www.https://www.toro.com/en-GB](http://www.https://www.toro.com/en-GB) へアクセスしてください。

整備について、また純正部品についてなど、分からないことはお気軽に弊社代理店またはカスタマーサービスにおたずねください。お問い合わせの際には、必ず製品のモデル番号とシリアル番号をお知らせください。図 1 に製品のモデル番号とシリアル番号の位置を示します。いまのうちに番号をメモしておきましょう。

**重要** シリアル番号デカルについている QR コード無い場合もあります。モバイル機器でスキャンすると、製品保証、パーツその他の製品情報にアクセスできます。

いまのうちにモデル番号とシリアル番号をメモしておきましょう。

モデル番号 \_\_\_\_\_  
シリアル番号 \_\_\_\_\_

## 危険警告記号

危険警告記号 図 2 は、このマニュアルと実機上に表示され、事故防止のために守るべき重要な注意事項を示します。



図 2

危険警告記号

g000502

危険警告記号に続いて、**危険**、**警告**、または**注意**という文字が表示され、危険行いや状況についての具体的な内容が示されます。

**危険** 人命に関わる差し迫った危険を意味します。この注意を守らないと死亡事故や重大な人身事故が起きます。

**警告** 人命に関わる潜在的危険を意味します。この注意を守らないと死亡事故や重大な人身事故が起る恐れがあります。

**注意** 安全に関わる潜在的危険を意味します。この注意を守らないとけがをする可能性があります。

この他に2つの言葉で注意を促しています。重要は製品の構造などについての注意点を、注はその他の注意点を表しています。

## 目次

|                        |    |
|------------------------|----|
| 危険警告記号                 | 2  |
| 安全について                 | 3  |
| 安全に関わる重要な注意事項          | 3  |
| 安全ラベルと指示ラベル            | 6  |
| 組み立て                   | 8  |
| 1 ハンドルバーのフットストップを取り付ける | 8  |
| 2 ハンドルバーを取り付ける         | 8  |
| 製品の概要                  | 12 |
| 各部の名称と操作               | 12 |
| 仕様                     | 12 |
| 充電、運転および格納保管時の温度範囲     | 12 |
| アタッチメントとアクセサリ          | 12 |
| 運転の前に                  | 13 |
| バッテリーパックを芝刈り機本体に取り付ける  | 13 |
| 運転中に                   | 14 |
| 機械を動作させる               | 14 |
| 機械の停止手順                | 14 |
| 芝刈り機本体からバッテリーパックを取り外す  | 15 |
| ハンドルバーをフットストップで支えるには   | 15 |
| 刈高を調整する                | 15 |
| ヒント                    | 17 |
| 運転終了後に                 | 17 |
| バッテリーを充電する             | 17 |
| 保守                     | 19 |
| 推奨される定期整備作業            | 19 |
| 整備作業にかかる前に             | 19 |
| ブレードの整備                | 19 |
| 機械の清掃                  | 21 |
| 保管                     | 21 |
| 格納保管の準備                | 21 |
| 運転操作のための準備             | 21 |
| 故障探究                   | 22 |

# 安全について

## 安全に関わる重要な注意事項

### ▲警告

電動芝刈り機を使用する時は、火災、感電事故、人身事故などを防止するために、以下を含む安全上の注意事項を必ずお守りください

**すべての注意事項に必ず目を通してください。**

### I. トレーニング

1. 人身事故でも物損事故でも、必ず機械を使用していた人に責任が発生します。
2. 子供に、機械、バッテリーパック、充電器の操作などをさせないでください。地域の法令などによってオペレータに年齢制限が設けられている場合があります。
3. 子供やトレーニングを受けていない大人には、この機械の運転や整備をさせないでください。トレーニングを受けて正しい運転知識を身に付け、運転操作に必要な身体能力があり、責任ある大人のみがこの機械の操作や整備を行ってください。
4. 本機、バッテリーパック、バッテリー充電器を使用する前に、これらの製品の説明書および注意マークにすべて目を通してください。
5. 本機、バッテリーパック、バッテリー充電器の適切な使用方法と管理に十分慣れてください。

### II. 運転の前に

1. 作業場所に、無用の人間特に子供やペットなどを近づけないでください。
2. ガード、デフレクタ、集草装置などの安全保護機器が正しく機能していない時は、運転しないでください。
3. これから機械で作業する場所をよく確認し、作業の邪魔になるもの、機械に巻き込まれそうなものはすべて取り除きましょう。
4. 使用前に必ず、ブレード、ブレードボルト、ブレードアセンブリが磨耗または損傷していないことを確認してください。破損したり読めなくなっているラベルは新しいものに貼りかえてください。
5. 必ず Toro の指定するバッテリーパックをお使いください。指定外のアクセサリやアタッチメントを使用すると、けがや火災を引き起こす危険があります。
6. 指定外の電圧のコンセントに充電器を差し込むと、火災や感電事故を引き起こす危険があります。米国外で使用する場合には、必要に応じて適切な変換プラグをご使用ください。
7. 損傷したり改造されたりしたバッテリーパックやバッテリー充電器は使用しないでください。異

- 常な動作をして火災や爆発などを起こす可能性があります。
- 充電器の電源コードが損傷した場合は、Toro 認定代理店に連絡して交換用コードを入手してください。
  - Toro が指定したバッテリー充電器以外で、バッテリーパックの充電をしないでください。特定のバッテリーパック専用で作られた充電器を他のバッテリーパックに使用すると、発火する可能性があります。
  - バッテリーパックの充電は必ず換気の行き届いた場所で行ってください。
  - 充電説明書に記載されているすべての内容を守り、指定された温度範囲外でバッテリーパックを充電しないでください。注意事項を守らないとバッテリーが損傷したり発火したりする恐れがあります。
  - 作業にふさわしい服装を安全めがね、長ズボン、頑丈で滑りにくい安全な靴裸足やサンダル履きは不可、および聴覚保護具を着用してください。長髪は後ろでまとめてください。だぶついた服、ゆるいアクセサリなどは機械に巻き込まれる恐れがあるので外してください。ほこりの多い作業環境ではマスクを着用してください。ゴム手袋の使用をお奨めします。
  - 無理に刈ろうとしないでください機械が設計どおりの速度でより適切かつ安全に作業できるようにします。
  - 常に警戒を自分の行動をよく見て、注意深く常識的な範囲で操作してください。疲れている時、病気の時、アルコールや薬物を摂取した時は機械を使用しないでください。
  - 雨が降っている時はバッテリー駆動の芝刈り機を使用しないでください。
  - 機械の運転は十分な視界の確保ができる適切な天候条件のもとで行ってください。落雷の危険がある時には運転しないでください。
  - 後退するときや、機械を手前に引くときには安全に十二分の注意を払ってください。
  - 特に斜面では、常にしっかりした足場を確保し、身体のバランスを保ってください。斜面に平行に作業するようにし、上り下りでの作業は絶対にしないでください。斜面で方向を変える場合には、安全に十二分の注意を払ってください。傾斜が45°を超える斜面の刈り込みはしないでください。絶対に、機械と一緒に走らないでください。
  - 機械から排出される刈りかすを人に向けないでください。また、壁や障害物などにも向けないでください。異物が飛び出した時に跳ね返って身体に当たってけがをする恐れがあります。草地以外の場所を渡るときはブレードの回転を止めてください。

### III. 運転操作

- 回転中のブレードに接触すると大けがをします。刈り込み箇所の近くなど機械の可動部の近くに手足を近づけないでください。排出口の近くに、手足などを近づけないでください。
- この機械は本来の目的から外れた使用をすると運転者本人や周囲の人間に危険を及ぼす場合があります。
- 自走タイプの機械では、機械を始動する前に自走装置を OFF にしておいてください。
- モータを始動する時にマシンを傾けないでください。
- 突然の始動を防止するためにバッテリーパックを接続して機械を動かす前に、電気始動ボタンが電気スタートスイッチから取り外されていることを確認してください。
- この機械を運転する時は常に十分な注意を払ってください。運転中は運転操作に集中してください注意散漫は怪我や物的損害を発生させる可能性があります。
- 機械の調整や整備、清掃、保管を行う時には、機械を停止して電気スタートボタンを外し、すべての動作が停止するのを待ち、機械からバッテリーパックを取り外してください。
- 機械から離れる時や、アクセサリを交換する時には、必ずバッテリーパックと電動スタートボタンを機械から取り外してください。
- 機械が何かにつかたり、異常な振動を始めたら直ちに機械を停止させ、電気スタートボタンを外し、機械各部全ての動作が停止するまで待つてバッテリーパックをはずし、その後に機械の点検を行ってください。異常を発見したら、作業を再開する前にすべて修理してください。
- 機械を運搬するためにトラックの荷台などに載せる場合は、機械を停止させて電気スタートボタンを外してください。
- 過酷な条件下では、バッテリーパックから液体が噴出する場合があります。液体に触れないでください。万一液体に触れた場合は、流水で洗い流してください。万一液体が目に入った場合は、医師の診察を受けてください。バッテリーパックから出た液体に触れると痛みを感じたり火傷を負ったりします。

### IV. 保守整備と格納保管

- 機械の調整や整備、清掃、保管を行う時には、機械を停止してすべての動作が停止するのを待

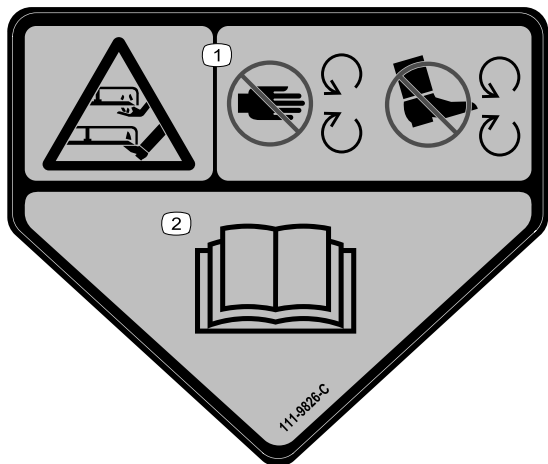
- ち、電気スタートボタンを外し、機械からバッテリーパックを取り外してください。
- マニュアルで説明されている以外の修理を行わないでください。Toro 正規代理店で、オリジナルと同一の交換部品を使用し修理などを実施してもらってください。
  - 整備を行う時は必ず手袋と保護めがねを着用してください。
  - 刈り込みブレードは、左右のバランスを保って均等に研磨してください。ブレードはきれいに洗ってバランスが崩れていないことを確認してください。
  - 曲がり、摩耗、破損などが見られるブレードは新しいものに交換してください。バランスが崩れたブレードは振動を発生させ、モータを損傷させたり、人身事故の原因となったりする可能性があります。
  - 電源を OFF にしてもブレードは動きます。整備をする時は十分に注意してください。
  - 機械の性能を完全に引き出し、かつ安全にお使いいただくために、交換部品やアクセサリは純正品をお使いください。非純正の部品やアクセサリを御使用になると危険な場合があります、製品保証を受けられなくなる場合がありますのでおやめください。
  - 機械のメンテナンス刃先を鋭利に保つことがベストかつ安全な刈り込みのポイントです。ハンドル部に油やグリスが付着しないよう、乾燥した清潔な状態に保ってください。ガード類は正しく取り付けてください。ブレードは鋭利に維持してください。交換用のブレードは必ず同じものをお買い求めください。
  - 機械の各部に損傷がないか確認してください。ガードやその他の部品が損傷している場合は、機械が正常に動作するかどうかを確認してください。可動部品の位置ずれ、固着、破損、取り付け状態など、動作に影響を与える可能性のある部分点検してください。マニュアルに修理手順が説明されていない限り、損傷したガードや部品の修理や交換は、Toro 正規代理店に依頼してください。
  - 機械から取り外されているバッテリーパックの電極に、クリップ、コイン、鍵、釘、ねじなどが触れると危険ですからご注意ください。バッテリーの端子同士がショートすると、やけどや火災の原因になります。
  - ブレードとモータの取り付けボルトがゆるんでいるか、まめに点検してください。
  - 本機を使用していないときは、屋内の、お子様の手の届かない乾燥した安全な場所に保管してください。
  - バッテリーパックや芝刈り機本体を、火の近くに置くなど高温にさらさないでください。高温 130°C にさらされると爆発する危険があります。
14. 注意バッテリーパックの取り扱いミスは、火災、爆発、化学物質による熱傷などの危険につながります。
- バッテリーパックを分解しないでください。
  - バッテリーパックを交換する時は、必ず Toro 純正のバッテリーパックと交換してください。他のバッテリーパックを使用すると、火災やけがの原因となる場合があります。
  - バッテリーパックは、使用直前まで、元のパッケージに入れた状態で子供の手の届かないところに保管してください。

## これらの注意事項は 保存してください。

# 安全ラベルと指示ラベル



以下のラベルや指示は危険な個所の見やすい部分に貼付してあります。破損したりはがれたりした場合は新しいラベルを貼付してください。



111-9826

decal111-9826

1. カuttingユニットによる手足や指の切断の危険可動部に手足を近づけないこと。
2. オペレーターズマニュアルを読むこと。

▲ **WARNING:** Cancer and Reproductive Harm - [www.P65Warnings.ca.gov](http://www.P65Warnings.ca.gov). For more information, please visit [www.toro.com/CAProp65](http://www.toro.com/CAProp65)

▲ **ADVERTENCIA:** Cáncer y Daño Reproductivo - [www.P65Warnings.ca.gov](http://www.P65Warnings.ca.gov). Para obtener más información, visite [www.toro.com/CAProp65](http://www.toro.com/CAProp65)

▲ **AVERTISSEMENT:** Cancer et Troubles de l'appareil reproducteur - [www.P65Warnings.ca.gov](http://www.P65Warnings.ca.gov). Pour plus d'informations, veuillez visiter [www.toro.com/CAProp65](http://www.toro.com/CAProp65)

133-8054

133-8054

decal133-8054



94-8072

decal94-8072

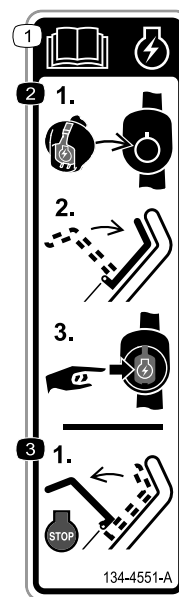


g017410

H295159

g017410

1. エンジン停止シャットダウン

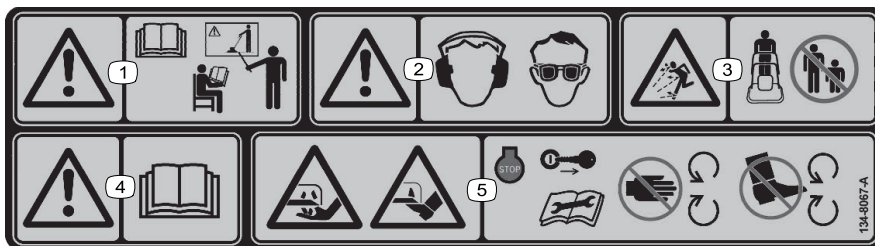


134-4551-A

134-4551

decal134-4551

1. マシンの始動手順の詳細については *オペレーターズマニュアル* を読むこと。
2. 機械の始動方法電気スタートボタンを始動スイッチに入れ、ブレードコントロールバーをハンドルの方に引いて、電気スタートボタンを押す。
3. 機械の停止方法ブレードコントロールバーから手を離す。



decal134-8067

134-8067

1. 警告 オペレーターズマニュアルを読むこと。使用する前に全員がトレーニングを受けること。
2. 警告 耳および目の保護具を着用すること。
3. 物が飛び出す危険人を近づけないこと。
4. 警告 オペレーターズマニュアルを読むこと。
5. ブレードで手や足を切断する危険 整備を行う前に機械を停止させてキーを抜き取ること。可動部に近づかないこと。

# 組み立て

## 1

### ハンドルバーのフットストップを取り付ける

#### この作業に必要なパーツ

|   |            |
|---|------------|
| 1 | 下側ハンドルバー   |
| 1 | フットストップ    |
| 2 | ワッシャ6 mm   |
| 1 | ロックナット6 mm |

#### 手順

注 ハンドルバーを下位置103.4 cmに組み立てる場合のみ、フットストップを使用してハンドルバーを垂直位置で支えることができます。

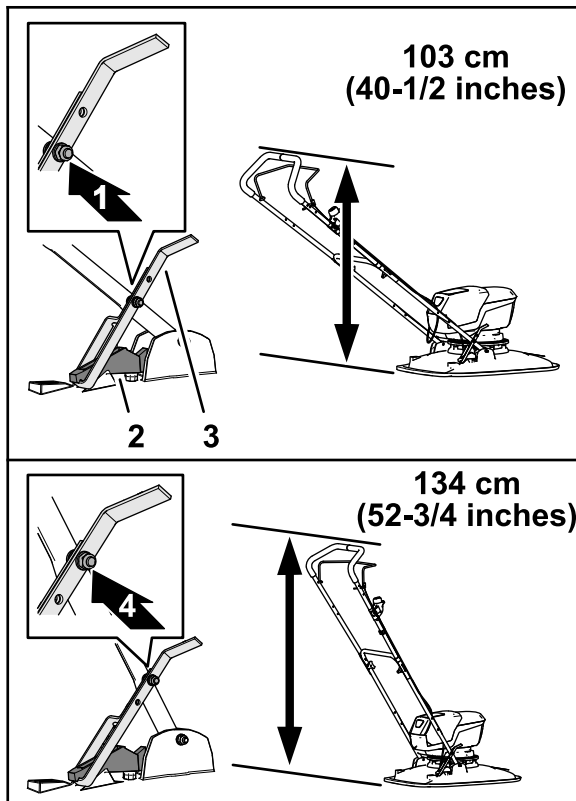


図 3

g414363

- 1. ハンドルバー下位置
- 2. 上ストップブラケット
- 3. フットストップ
- 4. ハンドルバー上位置

- 2. フットストップの穴を下側ハンドルバーのボルトに合わせる図 4。

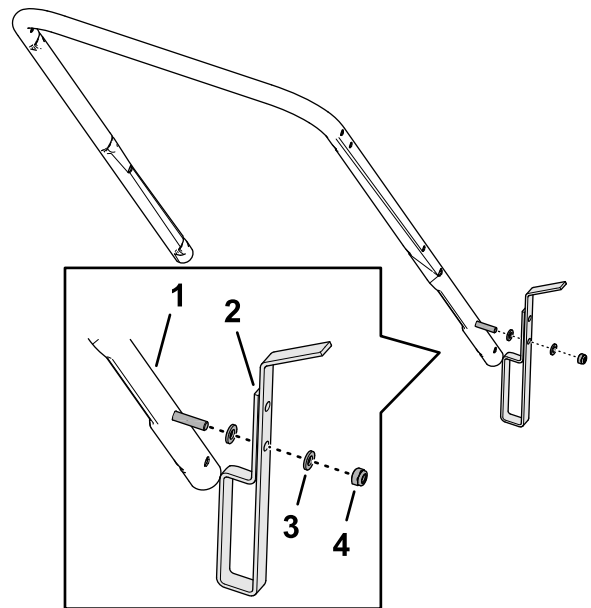


図 4

g462033

- 1. 下側ハンドルバー
- 2. フットストップ
- 3. ワッシャ6 mm
- 4. ロックナット6 mm

- 3. ワッシャー (6 mm) とロックナット (6 mm) 2個を使って、フットストップをハンドルバーに取り付ける。
- 4. ロックナットを締めつける。

注 フットストップを動かせることを確認してください。

- 1. フットストップが上ストップブラケットに固定されているときのハンドルバーの高さを決定する図 3。



# 2

## ハンドルバーを取り付ける

### この作業に必要なパーツ

|   |              |
|---|--------------|
| 4 | T字ブッシュ       |
| 2 | ボルト6 x 55 mm |
| 7 | ワッシャ6 mm     |
| 2 | ロックナット6 mm   |
| 1 | 上側ハンドルバー     |
| 2 | ボルト          |
| 2 | ノブ           |
| 1 | パンヘッドねじ      |
| 1 | ケーブルクランプ     |
| 1 | ロックナット       |
| 2 | ケーブルタイ       |

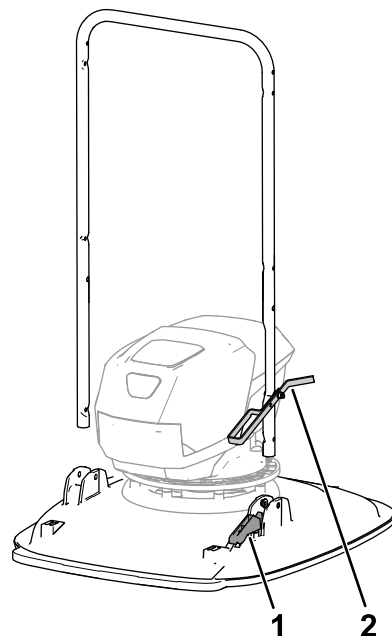


図 6

g414364

1. 上ストップブラケット
2. フットストップ

### 下側ハンドルバーを機体に取り付ける

1. 刈り込みデッキのハンドルバー用フランジにT字ブッシュ2個を取り付ける図5。

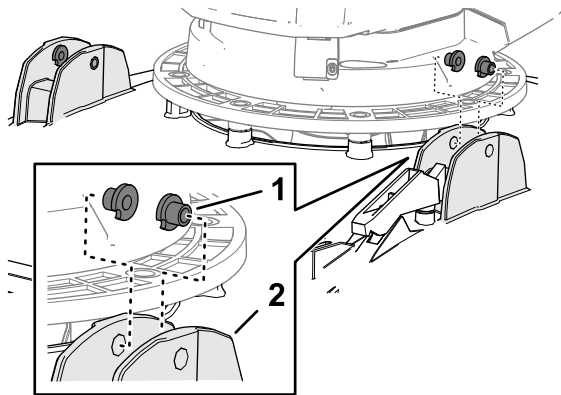


図 5

g367117

1. T字ブッシュ
2. ハンドルバー用フランジ刈り込みデッキ

2. ハンドルバーのフットストップをデッキの上ストップブラケットに合わせる図6。

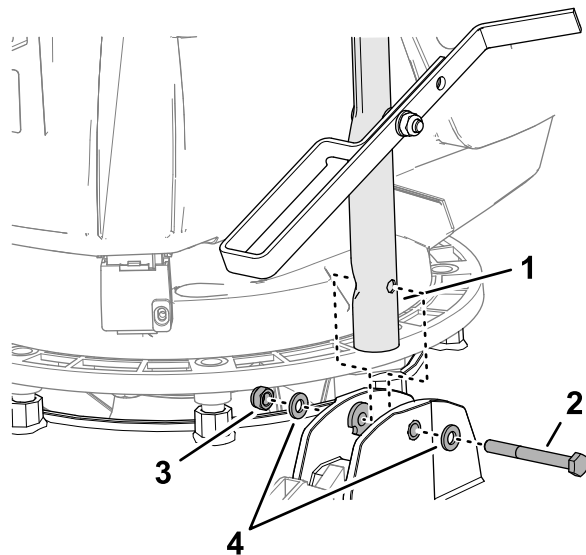


図 7

g367302

1. 下側ハンドルバー
2. ボルト6 x 55 mm
3. ワッシャ6 mm
4. ロックナット6 mm

4. 機械の反対側でも、ステップ3を行う。

### 上下のハンドルバーを組み合わせる

1. フットストップの穴を、下側ハンドルバーの穴に合わせる図8。

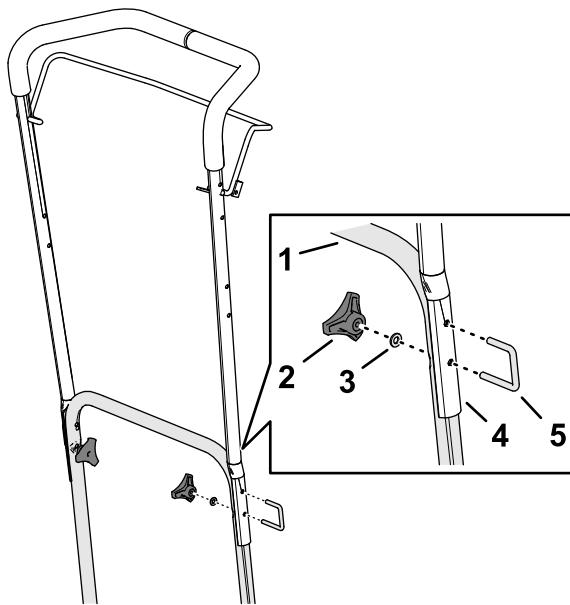


図 8

g364684

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1. 下側ハンドルバー | 4. 上側ハンドルバー |
| 2. ノブ       | 5. ボルト      |
| 3. ワッシャ6 mm |             |

2. 下側ハンドルバーに上側ハンドルバーを取り付けるUボルト2本、ワッシャ6 mm2枚、ノブ2個を使用する。

## ケーブルをオペレータベイルに接続する

1. オペレータベイルと上部ハンドルの取り付け部分でベイルの脚を押し縮めてベイルを機械から外す 図 9。

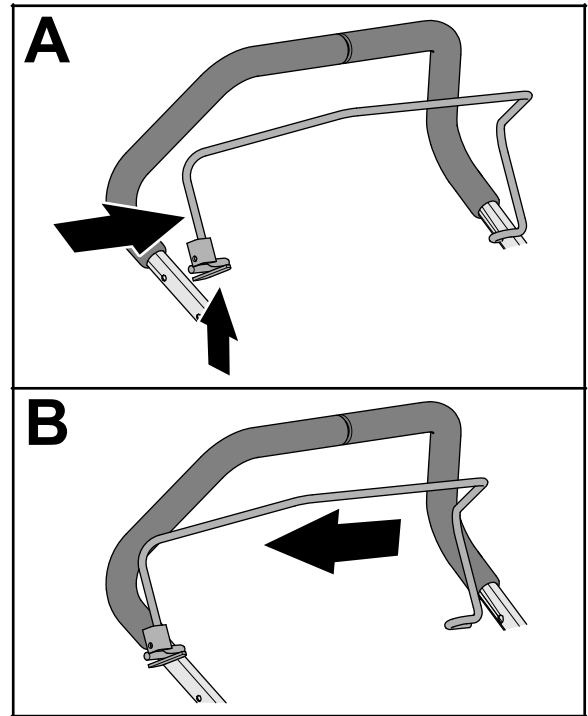


図 9

g367353

2. 図 10のように、オペレータベイルのブラケットの穴にケーブルフィッティングを挿入する。

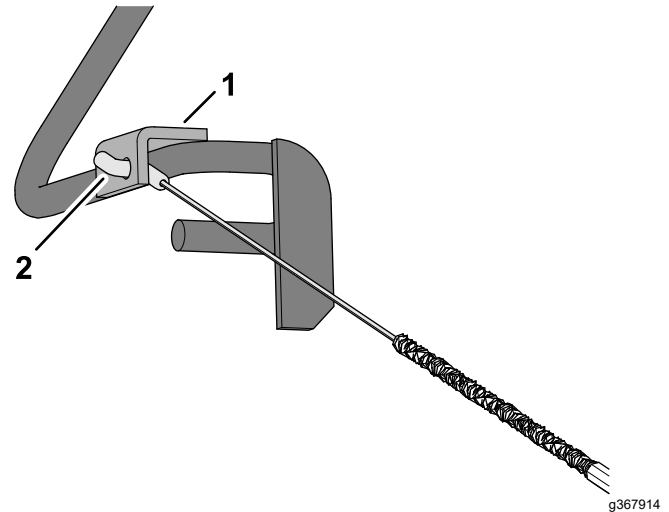
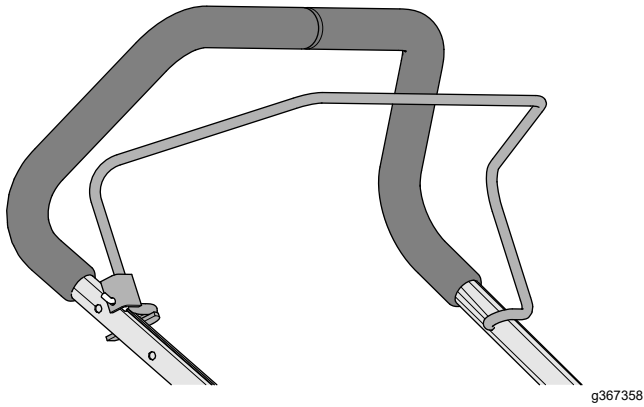


図 10

g367914

1. ブラケットオペレータベイル 2. ケーブルフィッティング

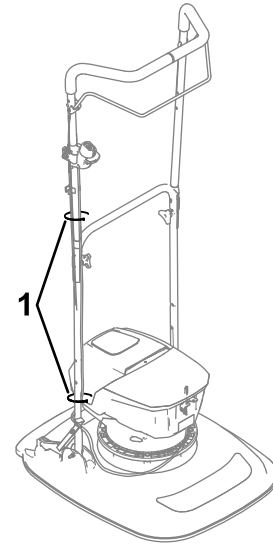
3. オペレーターベイルの片方の端をハンドルバーに入れ、もう一方の端をすこし押し縮めるようにしてハンドルバーに元通りに取り付ける **図 11**。



**図 11**

## ケーブルをハンドルバーに固定する

**図 13**のように、ケーブルタイを使ってケーブルをハンドルバーに固定する。



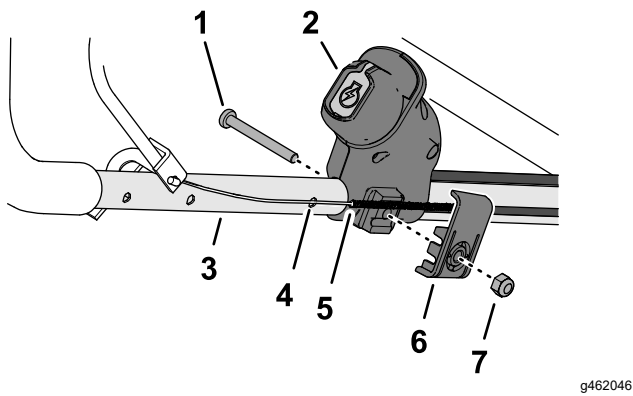
**図 13**

1. ケーブルタイ

## 電気スタートスイッチを取り付ける

1. 図のように電動スタートスイッチをハンドルバーに取り付ける **図 12**。

**注** ハンドルバーにある2つの取り付け穴のうち、下側を使う。



**図 12**

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 1. パンヘッドねじ      | 5. ケーブルオペレータベイル |
| 2. 電気スタートスイッチ   | 6. ケーブルクランプ     |
| 3. 上側ハンドルバー     | 7. ロックナット       |
| 4. この穴は使用しないこと。 |                 |

2. オペレータベイルのケーブルを電気スタートスイッチの上部ケーブル溝に合わせる。
3. ケーブルクランプをケーブルとスイッチに合わせる。
4. クランプ、ケーブル、スイッチをナベネジとロックナットで上側ハンドルバーに固定する。

# 製品の概要

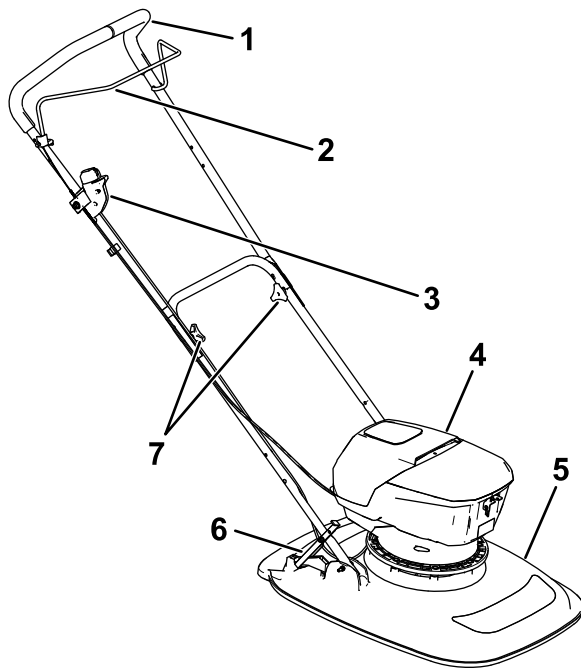


図 14

g414369

- |                      |                   |
|----------------------|-------------------|
| 1. ハンドルバー            | 5. 刈り込みデッキ        |
| 2. オペレータベイル          | 6. ハンドルバーのフットストップ |
| 3. 電気スタートボタン/スイッチ    | 7. ハンドルバーのノブ      |
| 4. バッテリーコンパートメントのカバー |                   |

## 各部の名称と操作

### オペレータベイル

オペレータベイル [図 14](#) はモータに供給する電力をコントロールするスイッチとなっています。

- ハンドルバーを握り締めてモーターを動かします。
- ハンドルバーから手を離すとエンジンが停止します。

### 電気スタートボタン

電気スタートボタン [図 14](#) は、電気スタートスイッチに挿入して、スイッチと共にモータをコントロールするのに使用します。

## 仕様

### 機械の仕様

| モデル    | 刈り幅   | 製品の幅  |
|--------|-------|-------|
| 02614T | 465mm | 575mm |

### 充電、運転および格納保管時の温度範囲

#### 温度範囲仕様

| バッテリーパックの充電および保管時 | バッテリーパック使用時 | 機械運転時    |
|-------------------|-------------|----------|
| 5°C-40°C          | -30°C-49°C  | 0°C-49°C |

\*所定の温度範囲で充電しないと充電所要時間が長くなる場合があります。

芝刈り機本体、バッテリーパック、バッテリー充電器は、清潔で乾燥した屋内で保管してください。

### アタッチメントとアクセサリ

トロが認定した各種のアタッチメントやアクセサリがそろっており、マシンの機能をさらに広げることができます。詳細は弊社の正規サービスディーラ、または代理店へお問い合わせください弊社のウェブサイト [www.Toro.com](http://www.Toro.com) でもすべての認定アタッチメントとアクセサリをご覧になることができます。

いつも最高の性能と安全性を維持するために、必ずToroの純正部品をご使用ください。他社製の交換部品やアクセサリを使用すると危険な場合があります。

# 運転操作

## 運転の前に

### バッテリーパックを芝刈り機本体に取り付ける

重要 使用に適した適切な温度範囲内でのみバッテリーパックを使用してください仕様 (ページ 12)を参照。

1. 電気スタートスイッチからスタートボタンを外す 機械を動作させる (ページ 14)を参照。
2. バッテリーパックの通気口にごみなどが詰まっていないことを確認する。
3. バッテリーコンパートメントのカバーを開く 図 15。
4. バッテリーコンパートメントの端子にバッテリーパックの端子を合わせる。
5. バッテリーパックを、ラッチがかかって固定されるまで、コンパートメントの端子に押し付ける。
6. バッテリーコンパートメントのカバーを閉じる。

注 カバーが完全に閉まらない場合は、バッテリーの挿入が不完全で、ラッチが掛かっていません。

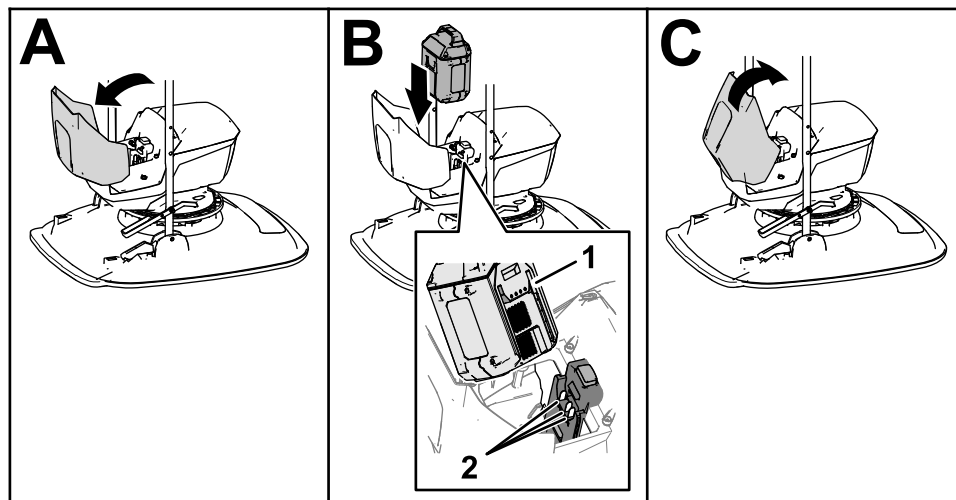


図 15

1. バッテリーパックの端子

2. バッテリーコンパートメントの端子

g414371

# 運転中に

## 機械を動作させる

1. 電気スタートスイッチに電気スタートキーを入れる  
図 16。

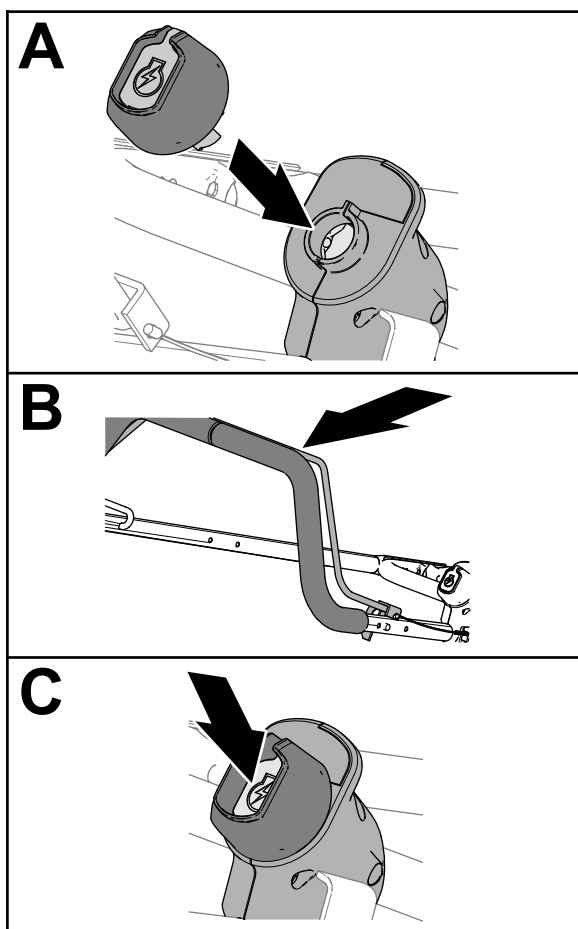


図 16

g367528

## 機械の停止手順

1. オペレータ安全ベイルから手を離す 図 17。

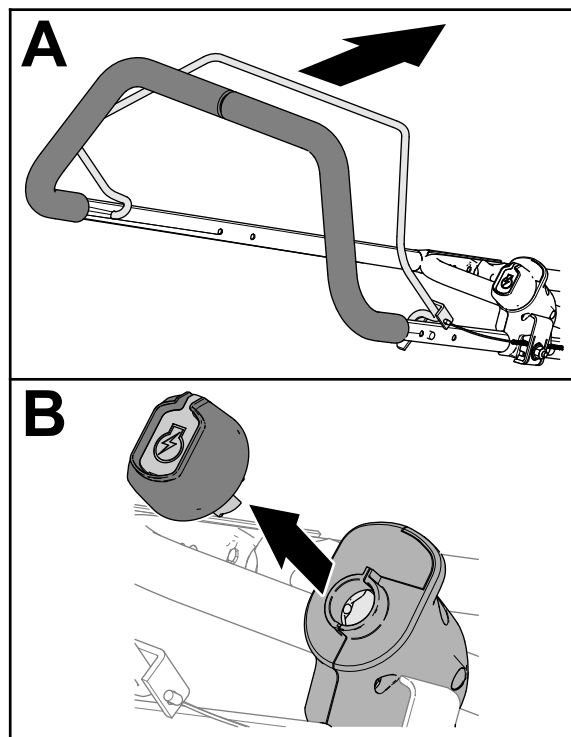


図 17

g367527

2. ハンドルバーにオペレータベイルを押しつける  
ように握り込む 図 16。
3. スタータボタンを押す。
4. モーターが最高回転に達するのを待つて使用を開始する。

2. モーターが完全に停止するまでハンドルバーから手を離さない。
3. 電気スタートスイッチから電気スタートキーを取り外す。

# 芝刈り機本体からバッテリーパックを取り外す

1. 機械を停止させる **機械の停止手順 (ページ 14)**を参照。
2. バッテリーコンパートメントのカバーを開く **図 18**。
3. バッテリーパックのラッチを押してバッテリーパックを解放し、それを取り出す。
4. バッテリーコンパートメントのカバーを閉じる。

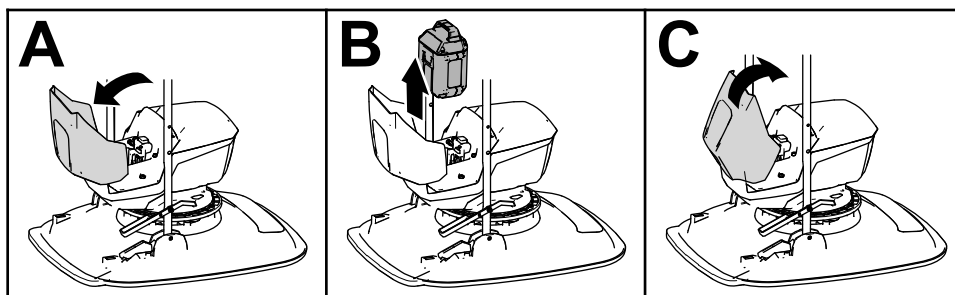


図 18

g414370

## ハンドルバーをフットストップで支えるには 低位置に組み付けられたハンドルバー

注 下部ハンドルバーが低位置103 cmに取り付けられている場合には、フットストップを使ってハンドルバーを垂直に保つことができます。

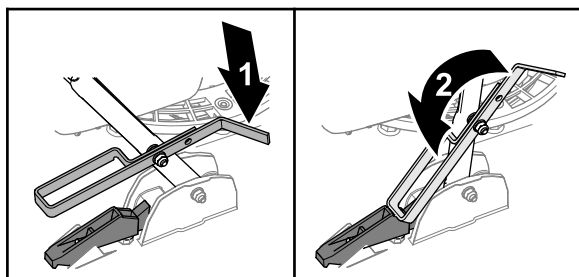


図 19

g367257

1. フットストップを前に倒した状態
2. フットストップを後に倒した状態

- ハンドルバーを持ち上げてフットストップを前に倒せばハンドルバーが解放されます **図 19**。
- ハンドルバーをサポートするには、ハンドルバーを配置し、フットストップを後方に回転させます。

## 刈高を調整する

### ⚠ 警告

刈高を調整中に刈り込みブレードが作動すると、大けがを負う危険がある。

- オペレータベイルから手を離し、機械が完全に停止するのを待ちます。
- ブレードの取り扱いは、丈夫な手袋をはめて行う。

### ブレードの取り外し

1. 機械を停止させ、電気スタートボタンを外し、バッテリーを外す **機械の停止手順 (ページ 14)**を参照。
2. 機械を傾ける。

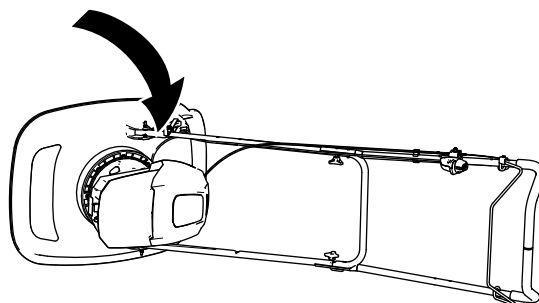


図 20

g414372

3. 角材などを使ってブレードをしっかり保持する **図 21**。

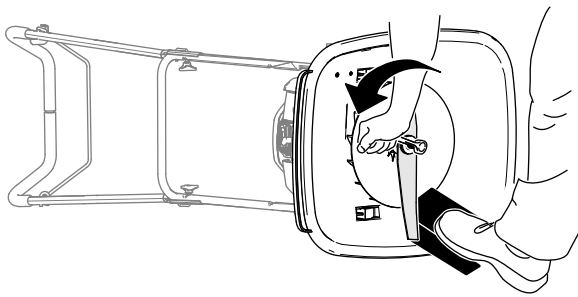


図 21

g364888

4. レンチを使用してブレード固定ボルトを左に回してブレードを外す 図 21。

**重要**ブレード取扱い時には安全めがねと厚手の手袋を着用してください。

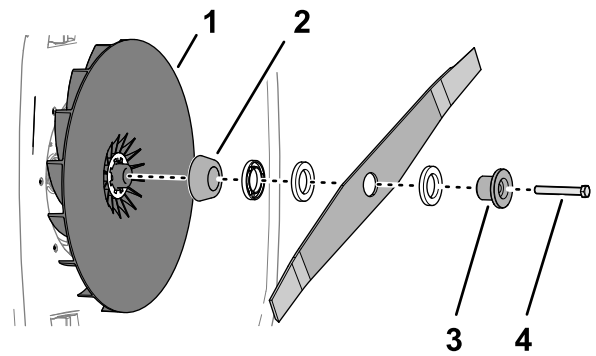


図 23

g364923

1. インペラ
2. 円錐スペーサ
3. リテーナ
4. ボルト

2. ブレードボルトを 75 N·m2.5 kg.m = 55 ft-lb にトルク締めする。

**重要**75 N·m55 ft-lbのトルク締めは非常に強い力を必要とします。刈り込みブレードを角材などでしっかり保持し、トルクレンチに自分の体重をしっかり掛けてボルトを確実に締め付けてください。

## ブレードスペーサの位置変更

刈り高を変更するには、図 22のようにスペーサの位置を変更します。

注 スペーサ1枚で、6.3 mm の刈高変更になります。

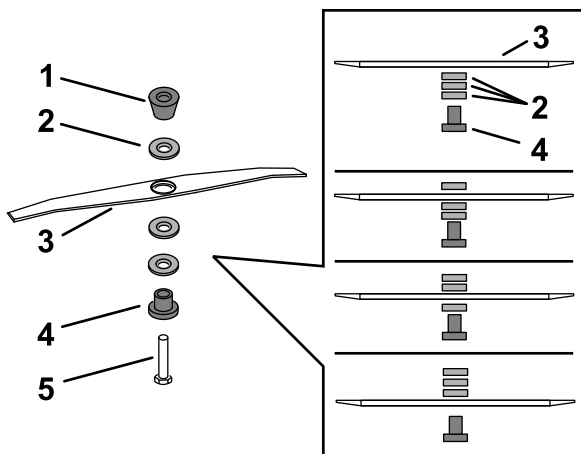


図 22

g364990

1. 円錐スペーサ
2. スペーサ
3. ブレード
4. リテーナ
5. ボルト

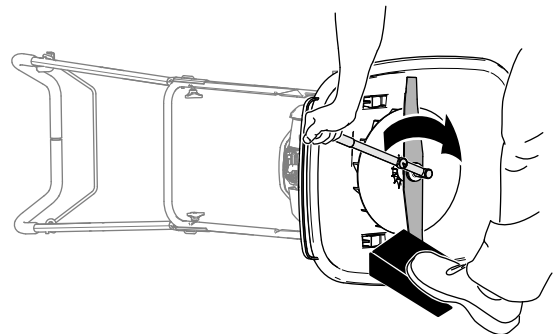


図 24

g364889

3. 機械を立てた状態にする。

## ブレードを取り付ける

1. ブレードの立っている側が刈り込みデッキの天井を向けるリテーナ、ブレード、スペーサ、円錐スペーサの順にインペラに取り付けてボルトで固定する。

**重要**円錐スペーサはインペラに直接接触するように、リテーナはボルトの頭の下面で押さえられるように、取り付けてください。



# ヒント

## 刈り込みについての一般的なヒント

- フットストップの輪の部分を上側ストップの下にセットすると楽に操縦できます。

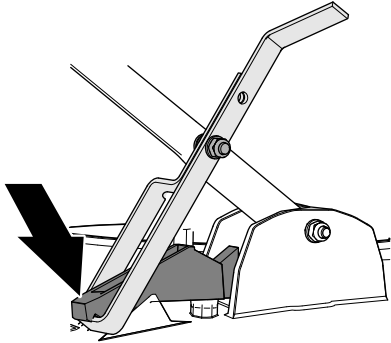


図 25

g367278

- これから機械で作業する場所をよく確認し、機械に巻き込まれそうなものはすべて取り除きましょう。
- 刈り込み中にブレードを硬いものに当てないように注意してください。障害物があるとわかっている場所は絶対に刈り込まないでください。
- 機械が何かにぶつかったり、異常な振動を始めたら直ちにモータを停止させ、電気スタートキーを外し、機械が破損していないか点検してください。
- ベストの性能を発揮できるように、シーズン始めにブレードを鋭利に整備しておきましょう。
- 使えなくなったブレードは、Toro の純正品に交換してください。

## 芝草の刈り込み

- 一度に刈り込む量は草丈のおよそ 1/3 程度までとしましょう。芝草がまばらにしか生えていない時や、成長が遅い時期晩秋以外は、刈高を最高位置 30 mm より下げないでください。
- 草丈が 15 cm 以上で刈り込みを行うと、機械に草が詰まったりモータが停止する可能性があります。
- ぬれた芝草やぬれた落ち葉は、あちらこちらにへばりつきやすく、刈り込みユニットに詰まるとモータが停止することがあります。芝草が乾いているとき以外は、できるだけ刈り込みを控えましょう。

### 警告

また、ぬれた芝生や落ち葉の上はスリップしやすく、運転中に転んで刈り込みブレードに触れたりすると大けがをする危険もあります。

芝草が乾いているとき以外は、できるだけ刈り込みを控えましょう。

- 非常に乾燥した日には火災が起きやすくなります。気象警報などに注意し、機械の周囲に乾いた草や葉を放置しないように注意してください。
- 刈り上がりに満足できない場合には、以下のつまたはそれ以上をお試しください
  - カッティングユニットを点検し、必要に応じてブレードを交換する。
  - 刈り込み時の歩く速度を遅くする。
  - 刈り込みデッキの刈高設定を高くする。
  - 刈り込み頻度を増やす。
  - 刈り幅をすこしダブらせるようにしながら刈り込む。

## 落ち葉の刈り込み

- 一度刈り込みをした後、芝生の半分程度が落ち葉から隠れない程度になっていることを確認してください。落ち葉の場合には、一回では完全に刈り込めない場合があります。
- 草丈が 15 cm を超える場所の刈り込みはお奨めできません。落ち葉の密度が高すぎると詰まりを起こしてモータが停止する場合があります。
- 落ち葉を十分に細かく切断できない場合には、歩く速度を落としてください。

## 運転終了後に

### バッテリーを充電する

**重要** お買い上げ時点では、バッテリーパックはフル充電されておりません。初めてツールを使用する前に、バッテリーパックを充電器にセットし、LED ディスプレイに充電完了と表示されるまでフル充電してください。すべての安全上の注意事項を守ってください。

**重要** バッテリーパックを充電する際は、周囲の温度が適切な温度範囲にあることを確認してください **充電、運転および格納保管時の温度範囲 (ページ 12)** を参照。

**注** バッテリーパックに付いているバッテリー充電状態表示ボタンを押すと、いつでもバッテリーの充電残量が表示されます LED インジケータ。

- バッテリーと充電器にある換気口に、ごみなどが詰まっていないことを確認してください。

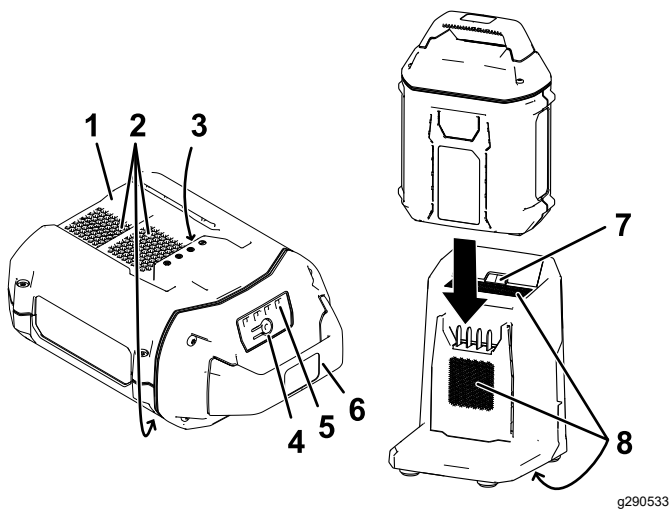


図 26

- |                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| 1. バッテリーパックのくぼみ     | 6. ハンドル           |
| 2. バッテリーパックの換気エリア   | 7. 充電器の LED 表示ランプ |
| 3. バッテリーパックの端子      | 8. 充電器の換気エリア      |
| 4. バッテリー充電状態表示ボタン   | 9. アダプタ充電器        |
| 5. LED インジケータ電流チャージ |                   |

2. バッテリーパックのくぼみ 図 26 を充電器のトングに合わせる。
3. バッテリーパックが完全に装着されるまで充電器にスライドさせる 図 26。
4. バッテリーパックが充電されるのを待つ。充電器の状態は以下の表の通り。

### バッテリー充電器の状態表

|               |                               |
|---------------|-------------------------------|
| LED インジケータランプ | 示す                            |
| OFF           | バッテリーパックが取り付けられていない           |
| 緑点滅           | 充電中                           |
| 緑             | 充電終了                          |
| 赤             | バッテリーパック及び/又は充電器が所定の温度範囲外である* |
| 赤点滅           | 充電エラー**                       |

\* 詳細は [充電、運転および格納保管時の温度範囲 \(ページ 12\)](#) を参照してください。

\*\* 詳細は [故障探究 \(ページ 22\)](#) を参照してください。

**重要**次に使用するまでの短時間であれば、バッテリーを充電器の上においたままにして構いません。

長期間にわたってバッテリーを使用しない場合は、充電器から外しておいてください [格納保管の準備 \(ページ 21\)](#) を参照。

5. バッテリーパックを外すには、充電器から引き抜きます。

# 保守

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

## 推奨される定期整備作業

| 整備間隔        | 整備手順   |
|-------------|--|
| 使用するときまたは毎日 | <ul style="list-style-type: none"><li>・ ブレードに過度の磨耗がないか、破損がないか点検してください。ブレードに破損を発見した場合には直ちに交換してください。</li><li>・ 刈かすやほこりなどを機体全体から除去する。</li></ul> |
| 使用后毎回       | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 刈かすやほこりなどを機体全体から除去する。</li></ul>  |
| 1年ごと        | <ul style="list-style-type: none"><li>・ ブレードは、交換するか研磨するかする(刃先が丸くなるのが早い場合には回数を増やす)。</li></ul>   |

## 整備作業にかかると前に

1. 平らな場所に移動します。
2. マシンを停止させ、電気スタートボタンを外し、バッテリーを外す [機械の停止手順 \(ページ 14\)](#) を参照。

## ブレードの整備

### 警告

整備時に電源を OFF にしてもブレードは動きま  
す。ブレードは非常に鋭利であり、触れると大け  
がをする危険がある。

- ・ 可動部に手足を近づけないよう注意すること。
- ・ ブレードの整備を行う場合には手袋をはめる。

## ブレードの点検

整備間隔: 使用するときまたは毎日 ブレードに破損を  
発見した場合には直ちに交換してく  
ださい。

1. 機械の整備の準備を行うには [整備作業にかかると前に \(ページ 19\)](#) を参照。
2. 機械を横に傾ける。

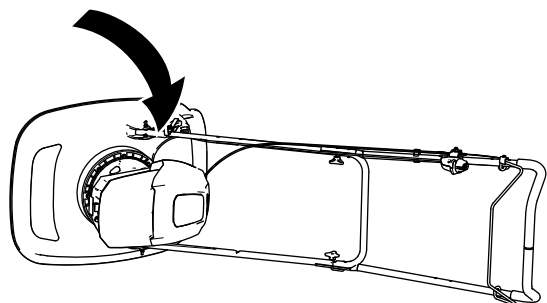


図 27

g414372

3. ブレードに過度の磨耗がないか、破損がない  
か点検する。
  - ・ ブレードに破損や割れを発見した場合には直  
ちに交換する。
  - ・ ブレードの刃先が鈍っていたり曲がっていた  
りしたら、外して磨いて修正するか交換する  
かする。
4. 機械を立てた状態にする。

## ブレードの交換

整備間隔: 1年ごと

**重要**ブレードを取り付けるにはトルクレンチが必要で  
す。トルクレンチをお持ちでない場合や、この整備に  
不安がある場合には、弊社の正規サービスディーラま  
たは総代理店にご相談ください。

## ブレードの取り外し

1. 機械の整備の準備を行うには [整備作業にかかると前に \(ページ 19\)](#) を参照。
2. 機械を横に傾ける。

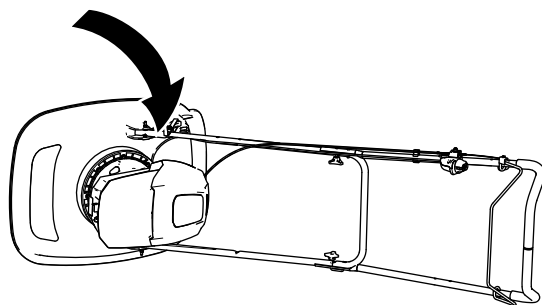


図 28

g414372

3. スペーサの位置を記録する。

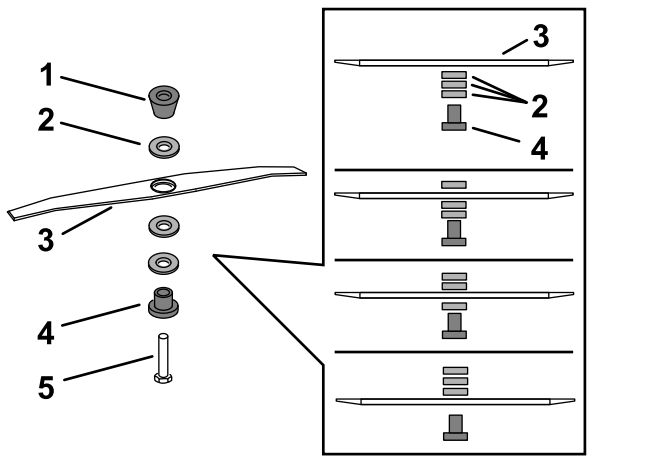



図 29

g364990

- |           |         |
|-----------|---------|
| 1. 円錐スペーサ | 4. リテーナ |
| 2. スペーサ   | 5. ボルト  |
| 3. ブレード   |         |

4. 角材などを使ってブレードをしっかり保持する  30。

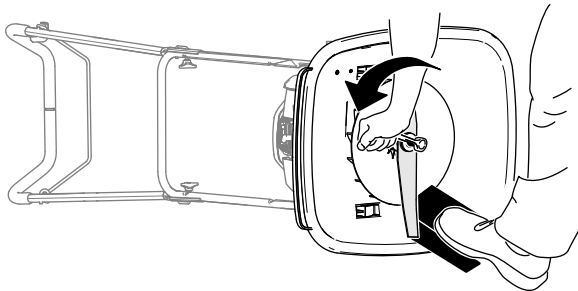



図 30

g364888

5. 付属のレンチを使用してブレードボルトを左に回してブレードを外す  29。

**重要**ブレード取扱い時には安全めがねと厚手の手袋を着用してください。

## ブレードを取り付ける

1. ブレードの湾曲した側を刈り込みデッキの天井を向けるリテーナ、ブレード、スペーサ、円錐スペーサの順にインペラに取り付けてボルトで固定する。

**重要**必ず、円錐スペーサはインペラに直接触れるように、リテーナはボルトの頭の下面で押さえられるように、取り付けてください。

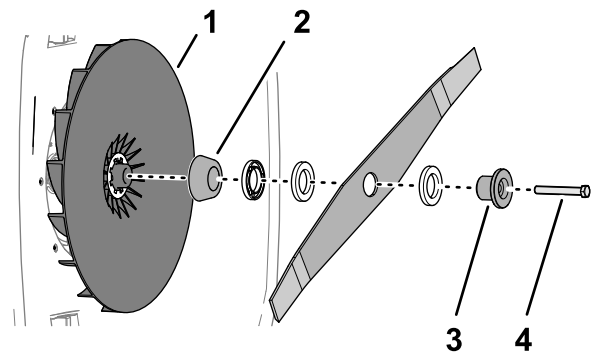


図 31

g364923

- |           |         |
|-----------|---------|
| 1. インペラ   | 3. リテーナ |
| 2. 円錐スペーサ | 4. ボルト  |

2. ブレードボルトを  $75 \text{ N}\cdot\text{m}$   $2.5 \text{ kg}\cdot\text{m}$   $= 55 \text{ ft}\cdot\text{lb}$  にトルク締めする。

**重要**  $75 \text{ N}\cdot\text{m}$   $55 \text{ ft}\cdot\text{lb}$  のトルク締めは非常に強い力を必要とします。刈り込みブレードを角材などでしっかり保持し、トルクレンチに自分の体重をしっかり掛けてボルトを確実に締め付けてください。

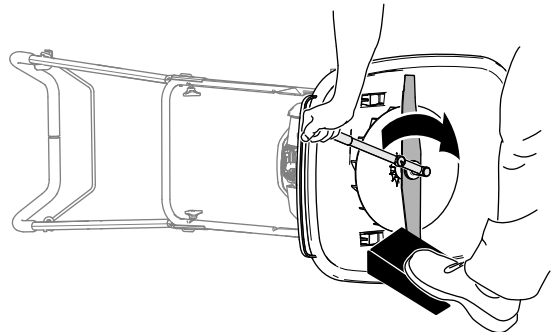


図 32

g364889

3. 機械を立てた状態にする。

# 機械の清掃

整備間隔: 使用することまたは毎日  
使用後毎回

## ▲ 警告

機械のハウジングの下側には刈かすなどがこびりつきます。

- 保護メガネ等着用のこと。
  - 正規の運転位置ハンドルバーの後ろから離れないこと。
  - 近くに人を寄せないこと。
1. 機械を停止させ、電気スタートボタンを外し、バッテリーを外す [機械の停止手順 \(ページ 14\)](#)を参照。
  2. 機械を傾ける。
  3. ブラシまたは圧縮空気で、モータハウジングやデッキ周囲部分についているよごれを取り除く。

# 保管

**重要** 芝刈り機本体、バッテリーパック、充電器は、それぞれ所定の温度範囲で格納保管してください。 **充電、運転および格納保管時の温度範囲 (ページ 12)**を参照。

## 格納保管の準備

1. 機械の清掃
2. 電気スタートスイッチから電気スタートキーを取り外す。
3. バッテリーパックを取り出して、損傷がないか点検する。

**注** バッテリーパックを取り付けたままで芝刈り機本体を保管しないでください。

4. バッテリーパックを、LED が 2-3 個点灯する程度に充電する。

**重要** 満充電状態や完全放電状態で保管しないでください。

5. ブレードに過度の磨耗がないか、破損がないか点検する。ブレードの切れ味が鈍っている場合は研磨、破損している場合は交換する。
6. 機械各部のゆるみを点検し、必要な締め付けや交換、修理を行う。
7. 芝刈り機本体、バッテリーパック、充電器は、涼しく、乾燥した場所で保管する。
  - 芝刈り機本体、電気スタートキー、バッテリーパック、充電器は子供の手の届かない場所に保管する。
  - 芝刈り機本体、バッテリーパック、充電器は、腐食性の物質肥料や融雪剤などの近くに置かない。
  - バッテリーパックは屋外や車内で保管しない。

## 運転操作のための準備

1. 充電器の左側のインジケータライトが緑色になるか、バッテリーの 4 つの LED インジケータがすべて緑色になるまで充電する。
2. バッテリーパックをマシンに取り付ける [バッテリーパックを芝刈り機本体に取り付ける \(ページ 13\)](#)を参照。

# 故障探究

この説明書に記載されている手順のみを行ってください。問題が解決しない場合は、弊社が認定するサービスディーラーまたは正規代理店に依頼してください。

| 問題                   | 考えられる原因  | 対策   |
|----------------------|--|--|
| 機械が始動しない。            | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. バッテリーパックが完全に差し込まれていない。</li> <li>2. バッテリーパックが充電されていない。</li> <li>3. バッテリーパックが破損している。</li> <li>4. 機械に別の電気的問題がある。</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. バッテリーパックを一度外して取り付け直し、ラッチが掛かるのを確認する。</li> <li>2. バッテリーパックを外して充電する。</li> <li>3. バッテリーパックを交換する。</li> <li>4. 正規ディストリビュータまたはサービスディーラーに連絡する。</li> </ol>  |
| 運転中に止まる。             | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. バッテリーパックのリード線がぬれている。</li> <li>2. バッテリーパックが完全に差し込まれていない。</li> </ol>   | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 水をふき取ってバッテリーパックを乾かす。</li> <li>2. バッテリーパックを一度外して取り付け直し、ラッチが掛かるのを確認する。</li> </ol>  |
| フルパワーにならない。          | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. バッテリーパックの残量が不足している。</li> <li>2. 換気口がふさがれている。</li> </ol>  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. バッテリーパックを外して満充電する。</li> <li>2. 換気口を掃除する。</li> </ol>  |
| すぐにバッテリーパックの力がなくなる。  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 周囲の気温が高すぎる、または低すぎる。</li> </ol>   | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 周囲温度が5°C - 40°C の乾燥した場所でバッテリーパックの温度が下がるのを待つ。</li> </ol>  |
| バッテリー充電器が動作しない。      | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 周囲の温度が高すぎる、または低すぎる。</li> <li>2. 充電器を接続しているコンセントに電気が来ていない。</li> </ol>   | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 充電器をコンセントから抜いて、周囲温度が5°C - 40°C の乾燥した場所移動する。</li> <li>2. 資格のある電気技術者に修理を依頼する。</li> </ol>   |
| 充電器のLED インジケータが赤色。   | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 充電器及び/又はバッテリーパックが所定の温度範囲外である。</li> </ol>   | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 充電器をコンセントから抜いて充電器とバッテリーパックを周囲温度が5°C - 40°C の乾燥した場所に移し、温度が下がるのを待つ。</li> </ol>   |
| 充電器のLED インジケータが赤色点滅。 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 充電器とバッテリーパックとの通信エラー。</li> <li>2. バッテリーパックの出力が弱い。</li> </ol>  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 充電器からバッテリーパックを抜き取り、充電器をコンセントから抜き取って10秒間待つ。充電器をコンセントに接続し、充電器にバッテリーパックをセットする。充電器のLED インジケータが、まだ赤色点滅する場合は、上記の操作をもう一度行う。上記の操作を2回行っても充電器のLED インジケータがまだ赤色点滅する場合は、バッテリーパックを廃棄する適切なりサイクル業者に引き取ってもらう。</li> <li>2. パックを廃棄する適切なりサイクル業者に引き取ってもらう。</li> </ol> |
| 機械またはモータの振動が大きい。     | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 機械の下側に刈かすやごみがこびりついている。</li> <li>2. モータ固定ボルトがゆるい。</li> <li>3. カuttingディスクのボルトが緩んでいる。</li> </ol>                           | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 機械のハウジング下側を清掃する。</li> <li>2. 固定ボルトを締め付ける。</li> <li>3. Cuttingディスクボルトを締める。</li> </ol>   |
| ビーという音が聞こえる。         | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. バッテリーパックが充電されていない。</li> <li>2. マシンが過負荷状態になっている。</li> <li>3. マシンに別の電気的問題がある。</li> </ol>                                   | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. バッテリーパックを外して充電する。</li> <li>2. 刈高を高くするか、ゆっくり歩くかする。</li> <li>3. 他のトラブルシューティングを試しても、アラームがまだ鳴る場合は、弊社正規代理店に連絡する。</li> </ol>   |

| 問題                   | 考えられる原因  | 対策   |
|----------------------|--|--|
| 刈り上がりがよくない、または悪くなった。 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ブレードの刃先が鈍くなっている。</li> <li>2. 刈り込みデッキ内部にごみがたまっている。</li> </ol>   | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ブレードを研磨するか交換する。</li> <li>2. 機械下を清掃する。</li> </ol>   |
| 刈り込みパターンが均一でない。      | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 毎回、同じ方向から刈り込んでいる。</li> <li>2. 機械の下側に刈かすやごみがこびりついている。</li> </ol>  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 刈り込みパターンを変える。</li> <li>2. 機械のハウジング下側を清掃する。</li> </ol>  |
| 刈り上がりが均一でない。         | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ブレードの刃先が鈍くなっている。</li> <li>2. 毎回、同じ方向から刈り込んでいる。</li> <li>3. 機械の下側に刈かすやごみがこびりついている。</li> <li>4. マシンに何らかの電気的問題がある。</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ブレードを研磨するか交換する。</li> <li>2. 刈り込みパターンを変える。</li> <li>3. 機械のハウジング下側を清掃する。</li> <li>4. 正規ディストリビュータまたはサービスディーラに連絡する。</li> </ol> |

メモ



メモ



## Toro 製品保証

2 年間または 1,500 時間限定保証

### 保証条件および保証製品

Toro 社は、Toro 社の製品以下「製品」と呼びますの材質上または製造上の欠陥に対して、2 年間または 1,500 運転時間のうちいずれか早く到達した時点までの品質保証を共同で実施いたします。この保証はエアレータを除くすべての製品に適用されますエアレータに関する保証については該当製品の保証書をご覧ください。この品質保証の対象となった場合には、弊社は無料で「製品」の修理を行います。この無償修理には、診断、作業工賃、部品代、運賃が含まれます。保証は「製品」が納品された時点から有効となります。  
\*アワーメータを装備している機器に対して適用します。

### 保証請求の手続き

保証修理が必要だと思われる場合には、「製品」を納入した弊社代理店、ディストリビュータ又はディーラー に対して、お客様から連絡して頂くことが必要です。連絡先がわからなかったり、保証内容や条件について疑問がある場合には、本社に直接お問い合わせください。

Toro Commercial Products Service Department  
8111 Lyndale Avenue South  
Bloomington, MN 55420-1196

952-888-8801 or 800-952-2740  
E-mail: commercial.warranty@toro.com

### オーナーの責任

製品のオーナーは、オペレーターズマニュアルに記載された整備や調整を実行する責任があります。必要な整備や調整を怠ったことが原因で発生した不具合などの問題点はこの製品保証の対象とはなりません。

### 保証の対象とならない場合

保証期間内であっても、すべての故障や不具合が保証の対象となるわけではありません。以下に挙げるものは、この保証の対象とはなりません

- Toroの純正交換部品以外の部品を使用したことまたはToroの純正部品以外のアクセサリや製品を搭載して使用したことが原因で発生した故障や不具合。
- 推奨された整備や調整を行わなかったことが原因で生じた故障や不具合。
- 運転上の過失、無謀運転など「製品」を著しく過酷な条件で使用したことが原因で生じた故障や不具合。
- 製品を使用したことによって消耗した正常なパーツ通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類とは、ブレーキパッドおよびライニング、クラッチライニング、ブレード、リール、ローラおよびベアリングシールドタイプ、グリス注入タイプ共、ベッドナイフ、タイン、点火プラグ、キャストホイール、ベアリング、タイヤ、フィルタ、ベルトなどを言い、その他、液剤散布用の部品としてダイヤフラム、ノズル、フローメータ、チェックバルブが含まれます。
- 以下のような外部要因が原因で発生する不具合天候、格納保管条件、異物、不適切な燃料、冷却液、潤滑剤、添加物、水、薬品などの使用。
- 適正な燃料ガソリン、軽油、バイオディーゼルなどを使用しなかったり、品質基準から外れた燃料を使用したために発生した不具合。
- 通常の使用に伴う運転音や振動、汚れや傷、劣化。通常の使用に伴う「汚れや傷」とは、運転席のシート、機体の塗装、ステッカー類、窓などに発生する汚れや傷を含みます。

### 米国とカナダ以外のお客様へ

米国またはカナダから輸出された製品の保証についてのお問い合わせは、お買いあげのToro社販売代理店ディストリビュータまたはディーラーへおたずねください。代理店の保証内容にご満足いただけない場合は弊社の正規サービスセンターにご相談ください。

### 部品

定期整備に必要な部品類「部品」は、その部品の交換時期が到来するまで保証されます。この保証によって取り付けられた部品は、この製品保証により保証期間終了まで保証され、取り外された部品は弊社の所有となります。部品やアセンブリを交換するか修理するかの判断は弊社が行います。弊社が保証修理のために再製造した部品を使用する場合があります。

### ディープサイクルバッテリーおよびリチウムイオンバッテリーの保証

ディープサイクルバッテリーやリチウムイオンバッテリーは、その寿命中に放出することのできるエネルギーの総量kWhが決まっています。一方、バッテリーそのものの寿命は、使用方法、充電方法、保守方法により大きく変わります。バッテリーを使用するにつれて、完全充電してから次に完全充電が必要になるまでの使用可能時間は徐々に短くなってゆきます。このような通常の損耗を原因とするバッテリーの交換は、オーナーの責任範囲です。注リチウムイオンバッテリーの保証内容をご確認ください。

### クランクシャフトのライフタイム保証プロストライプ 02657 モデルのみ

トロ社の純正摩擦ディスクおよびクランク安全ブレードブレーキクラッチ統合ブレードブレーキクラッチBBC摩擦ディスクアセンブリを当初から搭載し、当初の購入者様がトロ社の推奨する運転方法および定期整備を遵守してご使用されたプロストライプ製品には、クランクシャフトの曲がり不具合に対するライフタイム保証が適用されます。摩擦ワッシャ、ブレードブレーキクラッチBBCその他のデバイスを搭載した製品には、このクランクシャフトのライフタイム保証は適用されません。

### 保守整備に掛かる費用はオーナーが負担するものとします

エンジンのチューンナップ、潤滑、洗浄、磨き上げ、フィルタや冷却液の交換、推奨定期整備の実施などは「製品」の維持に必要な作業であり、これらに関わる費用はオーナーが負担します。

### その他

上記によって弊社代理店が行う無償修理が本保証のすべてとなります。

Toro 社は、本製品の使用に伴って発生しうる間接的偶発的結果的損害、例えば代替機材に要した費用、故障中の修理関連費用や装置不使用中に伴う損失などについて何らの責も負うものではありません。当社の保証責任は上記の交換または修理に限らせていただきます。その他については、排気ガス関係の保証を除き、何らの明示的な保証もお約束するものではありません。商品性や用途適性についての黙示的内容についての保証も、本保証の有効期間中のみに限って適用されます。

米国内では、間接的偶発的損害に対する免責を認めていない州があります。また黙示的な保証内容に対する有効期限の設定を認めていない州があります。従って、上記の内容が当てはまらない場合があります。この保証により、お客様は一定の法的権利を付与されますが、国または地域によっては、お客様に上記以外の法的権利が存在する場合があります。

### 排ガス保証についてのご注意

米国においては環境保護局EPAやカリフォルニア州法CARBで定められたエンジンの排ガス規制および排ガス規制保証があり、これらは本保証とは別個に適用されます。くわしくはエンジンメーカーのマニュアルをご参照ください。上に規定した期限は、排ガス浄化システムの保証には適用されません。製品に同梱またはエンジンメーカーからの書類に同梱されている、エンジンの排ガス浄化システムの保証についての説明をご覧ください。

# カリフォルニア州第65号決議による警告

## この警告は何？

以下のような警告ラベルが貼られた製品を見かけることがあるでしょう



**警告ガンおよび先天性障害の恐れ** — [www.p65Warnings.ca.gov](http://www.p65Warnings.ca.gov).

## 第65号決議って何？

第65号決議は、カリフォルニア州で操業している企業、製品を販売している企業、カリフォルニア州で販売または同州に持ち込まれる可能性のある製品のメーカーを対象とした法律です。この法律では、ガン、先天性などの出生時異常の原因となることが知られている化学物質の一覧をカリフォルニア州知事が作成維持しこれを公表しなければならないと定められています。危険物リストは、日常生活の中で使用するものから発見された数百種類の化学物質を網羅しており、毎年改訂されます。第65号決議の目的は、こうした物質に触れる可能性があることを市民にきちんと知らせることです。

第65号決議は、こうした物質を含む製品の販売を禁じているのではなく、そうした製品、製品の包装、製品に付属する文書などに警告を明記することを求めています。また、こうした警告があるからといって、その製品が何等かの安全基準に違反しているということではありません。実際、カリフォルニア州政府は、第65号決議警告はその製品が安全か安全でないかを示すものではないと説明しています。こうした物質の多くは、様々な生活用品に何年も前から使用されてきておりますが、それらの物質が今までに何らかの健康問題を起こしたという記録はありません。さらに詳しい情報はこちらへ <https://oag.ca.gov/prop65/faqs-view-all>.

第65号決議の警告は、以下のうちのどちらかを意味しています(1)ある企業が自社製品への化学物質の使用量について評価したところ、目立った危険は一つもないとされる基準を超えていることがわかった、または(2)製品に使用している化学物質は法律で規制されているものだったので、特に評価を行うことはせず、法に従って警告文を添付することにした。

## この法律は全世界に適用されるのですか

第65号決議警告はカリフォルニア州でのみ要求される法律です。第65号決議警告はカリフォルニア州のいたるところで目にすることができます。レストラン、八百屋、ホテル、学校、病院など、そして非常に多くの製品にも、この警告が印刷されています。さらには、オンラインやメールオーダーのカタログなどにも掲載されています。

## カリフォルニア州の警告と連邦政府の上限との関係は

第65号決議の内容は連邦政府の規制や国際規制よりも厳しいものが大変多いです。第65号決議の規制基準値は連邦政府基準に比べてはるかに厳しく、連邦政府基準では表示義務がないが、第65号決議では表示義務があるものが数多く存在します。たとえば、第65号決議の基準では、一日当たりの鉛の排出量が0.5マイクログラムとなっており、これは連邦政府の基準や国際基準よりもはるかに厳しい数値です。

## 似たような製品なのに警告が付いていないものがあるのはなぜ

- カリフォルニア州内で販売される場合には第65号決議ラベルが必要でも、他の場所で販売される場合には不要だからです。
- 第65号決議関連で裁判となった企業が、和解条件として第65号決議 警告の表示に同意したが、そうした問題に巻き込まれていない企業の製品には何も表示されていないといったこともあるでしょう。
- 第65号決議の表示は必ずしも一律に行われているわけではないのです。
- 自社内で検討した結果、第65号決議基準に抵触しないと判断して、警告の表示を行わないことを選択する企業もあります。警告が書かれていないからと言って、その製品に対象化学物質が含まれていないということは言えません。

## なぜ Toro 製品にはこの警告が表示されているのですか

Toro では、十分な情報に基づいてお客様ご自身が判断できるようにすることがベストであるという考えから、できる限り多くの情報をお客様に提供することとしております。リスト記載物質のいくつかが自社製品に該当する場合、Toro では、それらの物質のほとんどの量はごくわずかであって実際の表示義務はないことを認識した上で、排出量などを厳密に評価することなく、警告を表示するという判断をすることがあります。Toro では、自社の製品に含まれる化学物質の量が「重大なリスクはない」レベルであると認識した上で、あえてProp 65 警告の表示を行うという選択をしております。これはまた、もし Toro がこうした警告を表示しなかった場合、カリフォルニア州政府や、第65号決議の施行推進を目指す民間団体などから訴訟を提起される可能性もあるということも視野に入れての判断です。



**Count on it.**